

会報「技術士しぞーか」

公益社団法人 日本技術士会 中部本部 静岡県支部
事務局連絡先 Phone : 080-9194-4715 E-mail : ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp
支部長 : 加藤信之 事務局長/広報委員長 : 松世麻理子 会計 : 小澤靖 広報委員 : 森一明、岡井政彦



撮影 : 森一明

2025年7月12日 大阪 夢洲 2025年大阪・関西万博

目 次

◆ 2025 年度中部本部静岡県支部年次大会	P. 2
◆ 技術士試験合格者説明会	P. 3
◆ 万博中国パビリオン浙江ウィーク開幕式に参加して	P. 5
◆ 新役員紹介	P. 6
CPD 例会とテクノロジーカフェの予定	P. 10

表紙の写真説明

撮影場所：大阪 夢洲 2025 年大阪・関西万博

撮影者：森 一明（2025 年 7 月 12 日）

開催中の万博の大屋根リングの木組みです。巨大な木組みの建造物で、造形が面白いです。

2025 年度中部本部静岡県支部年次大会

2025年5月31日に静岡県男女共同参画センターあざれあにおいて、通算10回目となる静岡県支部の年次大会が開催されました。中部本部平田本部長はじめ、愛知・岐阜・三重の支部長他多くのご来賓のご出席も賜り、会場は33名の会員が参加し行われました。大会は、支部長・事務局長他役員の皆様のご尽力で、円滑に進行しつつがなく終了しました。

年次大会後の記念講演では、WEB参加も含め50名の方に参加して頂きました。講演は静岡大学の小南教授による「静岡県における森林の現状と針広混交林への誘導による生態系サービスの向上」という演題で、生物多様性が育む静岡の未来についてご講演頂きました。森林の保全は、生物多様性のみならず、保水・防災の面でも重要なテーマであることから、活発な質疑応答がありました。森林の保全は、自然の生態系の中で長い時間をかけて実現できるような計画的な活動が大切だと痛感させられる講演でした。（記：馬淵大幾）



中部本部平田本部長



記念講演の様子



静岡大学小南教授



講演会質疑応答の様子

技術士試験合格者説明会

技術士二次試験の合格者 5 名、一次試験合格者 1 名をお迎えして、合格者説明会を対面で実施しました。

1. 概要

日時：2025 年 6 月 14 日(土) 15:00～16:50

場所：男女共同参画センターあざれあ 第1会議室

参加者：12 名（二次合格 5 名、一次合格者 1 名、既会員 6 名）

式次第：

開会挨拶 加藤支部長

技術士会の概要説明 加藤支部長

参加者自己紹介 新合格者、既会員

合格者の皆様は電気電子 1 名、化学 1 名、環境 2 名、建設 1 名、上下水道 1 名と様々でした。今までの経歴や技術士を目指したきっかけなどをお話いただきました。既会員からも質問や経験談などが飛び出し、初対面にもかかわらず終始和やかな雰囲気でした。

17 時からは静岡唯一の“タイ政府公認レストラン” サバーイ・ディールで懇親会を行いました。一次合格者 1 名、二次合格者 3 名、役員 5 名の 9 名参加が参加しました。辛さ控えめにしてもらったのですが、トムヤムクンの辛さには四苦八苦しました。様々な話題で盛り上がり、打ち解けた雰囲気でした。

3. アンケート



合格者説明会参加者の皆様と

2. 内容

加藤支部長からの挨拶、技術士会の概要説明のあと新合格者の皆様の自己紹介を行いました。新

今回も、新合格者向けにアンケートを実施しました。結果は以下の通りです。(回答者 5 名)

【質問1】今回の行事を何でお知りになりましたか？

【回答】「静岡県支部のHP」2名、「合格時の資料に同封されたチラシ」1名、「中部本部の合格者説明会」1名、「静岡県支部のTwitter」1名。

【質問2】今回の行事に出席しようと思った理由を教えてください。

【回答】「県支部の活動内容が知りたかった」5名、「人脈を広げたかった」3名、「同じ合格者と意見交換したかった」2名、「技術士が何をしているか知りたかった」1名。

【質問3】上記の目的は達成できましたか？

【回答】「できた」3名、「だいたいできた」2名。

【質問4】上記の回答の理由を教えてください。

【回答】

- ・説明会や懇親会で人脈ができたから
- ・説明会でのお話のほか静岡県支部の年次大会資料をいただいたため、概要が把握できた。
- ・思ったより多くの方と懇談できたため。
- ・当初予想していたより、多くの新合格者の参加があった。

【質問5】合格者説明会の内容は有益でしたか？

【回答】「そう思う」2名、「ややそう思う」3名。

【質問6】上記の回答の理由を教えてください。

【回答】

- ・先輩たちの話を聞けて有意義な時間を持てました
- ・名刺交換をすることができ、同じ地域にどのような技術士の方がいらっしゃるかわかって有益だったため。
- ・自己紹介タイムで皆様のバックグラウンドを聞けて興味深かったです。
- ・支部の活動内容について、もう少しボリューム感があると活動イメージが付きやすいと思います。沼川の放水路の写真以外にも、動画等あればよかったと思います。

【問題7】全体を通してご意見ご感想ありましたら教えてください。

【回答】

- ・仕事の都合にもよりますが、できる限り例会にも参加したいと思います。

・オンラインでも参加できると遠方の方も顔を出しやすいかなと思います。

・まず、このような機会をいただきまして、ありがとうございます。CPD活動のあとに懇親会（夜の食事）という流れが一般的かと思いますが、私の業界では、近年「夜に飲みにケーション！」というスタイルが減ってきており、参加のハードルになることもあります。例えば、家族参加OKのBBQや、その場でケータリングを利用した立食形式の懇親会、その後希望者のみの二次会といった柔軟なスタイルですと、より多くの方が参加しやすくなるかもしれません（もしすでに企画済みでしたら申し訳ありません）。今後ともよろしく願いいたします。”

4. 所感

説明会、懇親会に出席された方にはご満足いただけたようで何よりでした。「合格時の資料に同封されたチラシ」で行事をお知りになった方が1名ということで、チラシの内容について再考が必要と感じました。また、人脈を広げたかった、多くの方と懇談できてよかったという回答があったことから、既会員出席者が増えるような方策を考えたいと思います。

合格者の皆様の今後のご活躍に期待したいと思います。
(記：松世麻理子)

万博中国パビリオン浙江ウィーク開幕式に参加して

1. はじめに

2025年7月12日に万博中国パビリオンで行われた浙江ウィーク開幕式に参加したので、その様子をご紹介します。中部本部の広報誌「技術士”ちゅうぶ”」第16号の同名記事の写真を合わせてご覧ください。

浙江省と静岡県、栃木県、福井県は長年友好関係にあります。浙江省の人口は6500万人とフランスやイタリアと肩を並べる規模ですが、省と県は対等関係です。今回の開幕式も副省長と3県の副知事が同席しました。

2009年中国建国60周年に浙江省科学技術庁主催の国際技術交流会があり3県が招待され、佐藤仁一さん宮野正克さんと参加しました。その後2011、2015、2016、2019年と国際技術交流会に参加して来ました。今回はコロナ後初めての対面での参加となりました。

2. 中国パビリオン

万博中国パビリオンでは3日交替で中国全土の省が省ウィークを開催しています。浙江省は7月12日から14日で初日の午前中に開幕式が盛大に行われました。

浙江省科学技術庁主催の国際イベントは外郭団体の浙江対外科技交流センターが企画運営しています。その責任者が張要武センター長で15年来のお付き合いです。今回も張要武センター長から招待の連絡をいただきました。

VIPチケットで入場し9時過ぎに中国館に到着しました。開幕式まで少し間がありパビリオンを案内していただきました。玄関前の竹林でBrain Computer Interface 義手をした方が竹に書を描いていて美しい筆裁きに驚きました。中へ入ると三星堆青銅神樹（四川省BC2800～BC800）の実物大展示に圧倒されました。更に良渚文化（浙江省BC3500～BC2200）の玉璧、玉琮、玉鉞（えつ）の本物展示が。続く浙江伝統産業展では、東陽木彫、世界無形文化遺産の龍泉青磁などの展示や、宗式点茶、杭州刺繡、漢方香り袋手作りなどが実演されていました。上の階に行くと最先端の科学技術の展示が。目を引いたのは探査機嫦娥6号が昨年6月に持ちかえった月裏側の土壌サンプルの展示です。

3. 開幕式

10時から浙江省政府主催の開幕式第1部が始まりました。楊青玖副省長の開幕スピーチの後、中央政府の両山理念のもと、浙江省が20年にわたり実践してきた各市県のモデル事業がプレゼされました。竹林活用とCarbon Credit、日中共同トキ絶滅からの復活保護活動、棚田の再生、廃鉱の観光再生などです。最後に浙江伝統の器楽演奏と水袖の舞いが披露されました。

続いて浙江省科学技術庁主催の開幕式第2部、浙江グリーン技術のプレゼ、司会は張要武センター長です。Unitree robotics社のAI技術を活用した人型ロボット、実演も行いました。BrainCo社の米タイムマガジン誌のBest Inventions of the Yearに選ばれたBrain Computer Interface技術は腕の筋肉信号から義手の指を動かします。そのピアノ演奏は見事なものでした。

開幕式のあと海遊館のすぐ隣の大阪文化館での昼食会に参加しました。張センター長と部下の王主管、浙江科学技術庁科技合作所の朱副所長と卓を囲み、久しぶりにゆっくりお話しができました。

4. 終わりに

中央政府の理念のもと省が長期ビジョンを立て各市がモデル事業を推進（迅速で高効率）、BC3000年良渚文化から現代まで伝統文化を大切に継承、AI技術で世界の最先端に到達、と感じました。

浙江省科学技術庁と日本技術士会静岡県支部との技術交流は今後もぜひ継続してほしいと願っています。ただ佐藤仁一さんはお亡くなりになり、宮野正克さんは体調を気にするお歳になり、私は後期高齢者になりました。参加経験者で元気なのは加藤信之支部長だけです。今後はぜひ若い方々が浙江省との技術交流に積極的に参加されることを望みます。

（記：森一明）

新役員紹介 杉山武彦



こんにちは、静岡県支部の会員の皆様、今年度から CPD 委員になりました応用理学部門の杉山武彦です。よろしくお願いいたします。

現在、3つのことをやっています。

(1)昨年までは、お茶の生葉の生産農家をやっていましたが、所属する茶農業協同組合(通称:お茶工場)が解散してしまったため、路頭に迷ってしまうことになりました(現在、組合の清算委員をやっています)。正直なところというと、10年以上、茶価が右肩下がり下落しており、お金と時間を浪費するような仕事をしてきたので、いい区切りになりほっとしています。

そんな訳で、現在、茶畑は無期限休業中です。いくつかの茶畑では、お茶の木を引っっこ抜いて、他の作物をテストで育成しています。一応、人様には、実験農園と称してやっています。

栽培している作物は、カボチャ、サツマイモ、そば、大豆、小豆、キャベツ、大根・・・といったところです(写真は、家の裏の圃場です。手前のカボチャはほぼ収穫終了したところ。奥側のサツマイモの収穫はこれからです。)



実験農園の様子

例年、この時期になるとイノシシが、カボチャを狙って出没するのですが、今年は、金属柵と電気柵の二重の防御を行って、イノシシの撃退に成功し、無事にカボチャの収穫にこぎつけることができました。

まとめられたら数年後には、「茶畑やめて〇年後に、うちの畑どうなった」とかいう講演をやろうと思っています。

(2)十数年ぶりにアマチュア無線局免許状を取得して、開局を行いました。局のコールサインは、「JS2QUL」ですが、普通の無線家の方が、当局のコールサインを聴くことはあまりないでしょう。1.2GHz 帯～10GHz 帯といった、あまり人の運用していない周波数を用いて交信を行っているのも、相手様局からお声がけいただくと、滅多にないことなのでビックリしてしまいます。そんなことをやって遊んでいます(写真は、浜石岳の駐車場から 1.2GHz～5.6GHz をオンエアしたときに使用したアンテナ)。



浜石岳の駐車場にて

こんなアンテナを持った不審人物が、ちょっと小高い公園や山の頂上付近に出没していますので、決して警察には通報しないでください。

(3)現在とある大学に編入して4年生になっていますが、遊び過ぎているため単位の取得がはかどっていません。

(写真は、昨年の造形の授業で作成した「バス停を作る」という課題での作品です。)



造形の授業の課題「バス停を作る」

(記：杉山武彦)

役員自己紹介(森田一徳)

はじめまして、今年度より新たに役員となりました、電気電子部門の森田一徳と申します。

CPD 委員会、事業開発委員会の委員をさせていただきます。

技術士としての登録および技術士会への入会は2017年でした。しかしながら、それ以降の数期間は、本業の多忙さもあり、なかなか県支部の活動に積極的に参加することができませんでした。

そんな私にとって、大きな転機となったのが独立開業でした。2023年12月、長年勤めていた電機メーカーを退職し、翌2024年1月に自らの会社を設立いたしました。これまで培ってきた技術と経験を社会に還元したいという思いが強くなったこと、そして自分自身の働き方を見直したいという気持ちが重なり、思い切って新たな一步を踏み出す決意をしました。

独立後は、時間的にも精神的にも余裕が生まれ、ようやく県支部の活動にも積極的に参加できるようになりました。技術士として、地域や社会とのつながりを深めながら活動することの意義を、改めて実感しているところです。

現在の主な業務は、「新製品開発支援」と「省エネ診断」の2本柱です。新製品開発支援においては、主に機械メーカー様を対象に、製品の電化・電動化に関する技術的なアドバイスや支援を行っています。昨今では、電気自動車に限らず、さまざまな分野で動力源をエンジンからモーターへと置き換える動きが進んでいます。たとえば工場設備や建設機械といった分野でも、脱炭素や騒音対策といった理由から電動化が加速しています。そうした背景の中、電気回路設計やモーター制御といった分野の専門性を活かし、開発の支援を行っています。

一方、省エネ診断の分野では、経済産業省の補助金事業「省エネお助け隊」の間接補助事業者として登録され、中小企業の工場や事業所に出向いて、エネルギーの使用実態を診断し、具体的な省エネ提案を行っています。特に昨今は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、国全体で省エネ・脱炭素の動きが加速しており、そうした流れの中で、技術士として中小企業を支援できる場面も増えてきています。

「新製品開発支援」「省エネ診断」のどちらの業務も技術士の売りである、複数の技術のすり合わせによる、課題解決を活かせる業務であり、このような業務



をさせていただけることを技術士として誇りに思います。

プライベートでは、工作が趣味です。幼少期から手を動かしてものを作ることが好きで、親に買い与えられた知育用ブロックに夢中になって遊んでいた記憶があります。小学生になるとミニ四駆にのめり込み、改造に明け暮れ、地元の大会にも出場しておりました。このような経験が、今の技術者としての基礎を築いてくれたと感じています。

最近では、木製コンポストとラジオの自作に取り組みました。コンポストについては、娘が環境問題に関心を持ち始めたのをきっかけに、自宅の庭で家庭ごみを処理できるようにホームセンターで角材等を買って制作しました。

また、ラジオについては、市販のICを使えば簡単に作れる時代ではありますが、あえてトランジスタなどの部品を一つひとつ配置して、フルディスクリート構成で制作しました。ブレッドボードの上に部品を並べ、配線を工夫しながら完成させたラジオからは、ノイズの少ないクリアな音が聞こえてきたときは、技術の面白さを改めて感じることができました。

現在は、スマートウォッチの自作にも挑戦していま



自作コンポスト



自作ラジオ

す。といっても、液晶ディスプレイに時刻を表示するところまでで手が止まっています。忙しさを言い訳にせず、また再開したいと考えています。

まとまりのない話になってしまいましたが、今後は県支部の役員として、CPD 例会の企画運営や、他機関との連携による事業開発などに微力ながら貢献していきたいと考えております。まだまだ未熟な点も多くございますが、技術士としての使命を果たし、皆様のお力添えになれるよう努めてまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

(記 森田一徳)

自己紹介（理科支援委員会：委員 萩原利行）

1. はじめに

今年度から、理科支援委員会の委員となりました萩原利行と申します。掛川市に住んでいます。よろしくお願いいたします。製薬会社に勤め、定年退職・再雇用後、類似企業に勤務したのちに技術士事務所を開設しました。専門分野は生物工学です。

理科授業の支援は、主に小学生を対象としており、元気な子供達との触れ合いはとても楽しいものです。毎回、新鮮な気持ちになります。



2. 理科授業の支援に思うこと

技術士は技術に関する伝道師のような側面があります。伝える場面は沢山あります。私は、伝え方が上手ではないので、常にどのように伝えるのが良いか考えながら日々過ごしています。今年から、理科支援委員会の委員としてご協力させていただくことになりましたので、これを機に、今は『静岡科学館 る・く・る』で行なっている『科学コミュニケーター養成講座』を受講しています。現役の学生さんや既に活動をされている方など、様々な人達と共に楽しく学んでいます。その成果を、授業支援に役立てたいと思っています。

理科授業の支援は、社会経験を持つ者が、次世代を担う子供達に、科学の面白さ、技術の尊さ、環境を守ることの大切さなどを伝えるものです。そのような意味からも技術士は適任者だと思います。とてもやりがいを感じています。

3. ライフワーク

私のライフワークは、自然を理解し、それを伝えることです。自然を理解すると言っても、容易なことではあ

りませんが、自然が持つ、とてつもない仕組みを理解することにロマンを感じています。また、どんなに小さなことであれ、自らにとって新たな発見を一つひとつ積み重ねることは楽しいものです。

このような気持ちになったのは、50歳を過ぎた頃からです。そして、学ぶことの楽しさを知ったのも、この頃からです。

一方、自然の理解と共に伝えたいことの一つとして、環境保全があります。地球温暖化に伴う生物多様性への影響は計り知れないものがあります。まだ間に合うと信じて、取り組んでいこうと思っています。環境カウンセラー、自然観察指導員、環境学習指導員、地球温暖化防止推進員となり、活動の場を広げています。

4. 趣味について

私は凝り性なところがあります。マイブームが来ると、しばらくはそれに没頭してしまいます。若い頃は、ランニングに魅力を感じ、フルマラソン、100kmマラソン、富士登山競争などに参加し、佐渡のトライアスロンも完走しました。また、転職で7年間東京にて仕事をしていた頃は、ランニングが出来るところが少なかったため、ウォーキングに夢中になりました。

会社の同僚と『いきいきキャンペーン』に参加して、歩数を競ったこともあります。私の最高月間歩数は1,010,781歩です。また1日での最高歩数は80,100歩です。

それから、音楽を聴くことや映画を見ることも好きで、半世紀ほど続けています。このまま一生続けたいと思います。最近は、ドルビーアトモスや空間オーディオが一般化し、没入感の高い体験が出来るようになってきています。ちょこちょこ、機材や部品を交換しては、その変化を楽しんでいます。

自らの趣味を列举すると、一人で楽しむものが多いのですが、人と話をするのもとても好きです。気楽にお声掛けしていただけると幸いです。よろしくお願いいたします。

（記：萩原利行）

自己紹介（理科支援委員会：委員 田中寛）

今年度から倫理研究会と理科支援委員会のお手伝いをさせて頂いています田中寛です。

微力ではありますが皆さまのお役に立ち、自己研鑽に繋がればと思い取組みますので、よろしくお願い致します。

私は総合技術監理と建設部門の道路を取得し、建設コンサルタントで道路設計に従事しています。最近では3次元点群を使い、設計作業の効率化と誰にでもわかるように設計成果を3次元モデルにすることなどに取り組んでいます。

ここで「3次元点群」とは何かを説明させて頂きます。静岡県は航空レーザー測量の先進県です。県土全体を飛行機でレーザースキャニングし、3次元の座標情報(XYZと色情報)を持った点群、**Laser Profiler**（以下LP）データとして公開しています。このことにより世界中の誰もが自由に地形をモデル化し、多くの用途に使っています。



LP データで再現した富士山火口

点群を取得する方法には、①ドローンにレーザースキャナーを搭載し取得する。②地上に据えたレーザースキャナーにより取得する。③車に搭載したレーザースキャナーにより取得する。④ハンディタイプのレーザースキャナーにより取得する。⑤ドローンに搭載したカメラで撮影した写真から点群を作成する。⑥デジカメで撮影した写真から点群を作成する。⑦船やボートにつけた音響測探機により地形を取得するなど様々なものがあります。

台風などにより斜面が崩れた場合は、LP データで取得した崩れる前のデータ（写真の赤い表示）と上記の機器を使い分け取得した崩れた後のデータ（写真の青い表示）を重ね合わせ、崩れた土砂量を算出します。またこのデータを使って設計作業を進めています。



崩れた土砂量を算出するデータ

このような最新の技術を活用した業務を進める一方で、気分転換のためにボーイスカウトの指導と家庭菜園にいそしんでいます。

ボーイスカウトの活動では、中学生達とキャンプ生活を楽しんだり、山歩きをしたりして子どもたちと多くの体験を共有しています。また活動の中で子どもたちのプレゼンテーション能力と表現能力の高さに驚かされています。

また家庭菜園は2畳程度の広さを耕し始めました。「庭に草が生えなくなった。」と妻も喜んでいます。夏にはゴーヤ、キュウリ、ナス、トマト、ピーマン、オクラを植え、秋から冬には、キャベツ、白菜、ブロッコリー、カリフラワーを植えています。

そこそこの収穫が期待でき、家計の助けになっていると思っています。しかし苗代と肥料代が高額なので、ひょっとすると赤字になっているかも知れません。



今年採れた夏野菜

研究会と委員会活動に携わるようになって日は浅いですが、多くの技術士の方と接するようになって、私と異なる業種の方の考え方や経験に触れることにより、多くの気づきを頂いています。もっと多くの気づきを頂けるように取り組みたいと思います。

（記：田中寛）

CPD 例会、テクノロジーカフェ、理科支援の実績と予定

■CPD例会 実績と予定

名 称	日 程	内 容
支部年次大会 第1回記念講演	2025年5月31日(土)	記念講演 「静岡県における森林の現状と針広混交林への誘導による生態系サービスの向上」 静岡大学教育学部教授小南陽亮氏
第2回例会	2025年8月16日(土)	テーマ 「持続可能な静岡の「農業」と「食」の最新動向」 講演1 「静岡農業の課題と今後必要な取組」 関東農政局静岡県拠点 地方参事官 河合 亮子 氏 講演2 「風味のデジタル解析技術」 静岡県立大学 准教授 伊藤 圭祐 氏
第3回例会	2025年10月18日(土)	内容検討中
第4回例会	2025年11月	見学会。「狩野川放水路」で検討中
産学官セミナー	2025年12月13日(土)	テーマ 「自然災害伝承碑から考える防災（仮称）」
第5回例会	2025年2月21日(土)	「倫理」をテーマに内容検討中

■テクノロジーカフェ 実績と予定

日 程	内 容
2025年4月17日(木)	「電気自動車のギモン全てお答えします！」 森田一徳会員（電気電子部門）
2025年6月19日(木)	「地盤がもたらす災害事情 -地質屋が指摘する地盤のあれこれ-」 秋山尚之（建設、応用理学部門）
2025年8月7日(木)	「若者のモチベーションアップ」 鈴木宣二会員（経営工学部門）
2025年10月16日(木)	「再生可能エネルギーと風力発電」（仮題）

■小学校等の理科特別授業 実績と予定

日 程	内 容
2025年9月	富士市富士川第1小学校、富士宮市上野小学校、沼津市沢田小学校
2025年11月	浜松市舞阪小学校、富士市富士川第1小学校、 テクノフェスタin浜松（静大工学部）理科実験教室

■編集後記

6月から広報委員を担当しております。技術士活動が支部会員の皆様に伝わるように、分かりやすい会報誌作りを心掛けたいと考えております。(広報委員会 岡井)

同じく6月から広報を担当している森一明です。執筆者の皆様へ、ご苦勞様でした。皆様のご協力で、分かりやすい広報になったと思います。ありがとうございます。(広報委員会 森一明)

残暑お見舞い申し上げます。先日高校の同窓会に出席し同級生とたくさん飲みました。最近はお酒は少量でも健康に良くないという学説をよく耳にしますが、飲酒は少しずつ継続しストレス発散しようと改めて思った次第です。最近35℃付近連日キープしていますので、皆様もご自愛ください。(加藤)

今期より広報委員長を引き継ぎました。新しいメンバーと、読んで楽しい会報を作っていきたいと思います。よろしくお願いします。(松世)



公益社団法人

日本技術士会

中部本部

The Institution of Professional Engineers, Japan

Chubu RHQ

静岡県支部

事務局：〒424-0943 静岡県静岡市清水区港町 1-5-6

TEL：080-9194-4715 E-mail：ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp

<http://ipej-shizu.sakura.ne.jp/>